

NPO 流域調整室では、2012 年度は、和束石寺では地元民の協力を得て竹内先生の 1m 深地温調査で判明した降雨時の水ミチを水槽で溜め懸崖斜面小屋かけした足踏み水車で排出、土壌浄化トイレを設置、カヌーを水温測定に用い河床に隠れた水難や浸水に関わる水ミチを探る事業を計画。毎月第 4 土曜和束石寺用地、第 2 土曜京田辺草内事務所で開催。持寄り昼食会。

鹿背山の竹小屋解体過程（2011 年 7 月）



和束町石寺の竹小屋築造過程（2011 年 11 月）

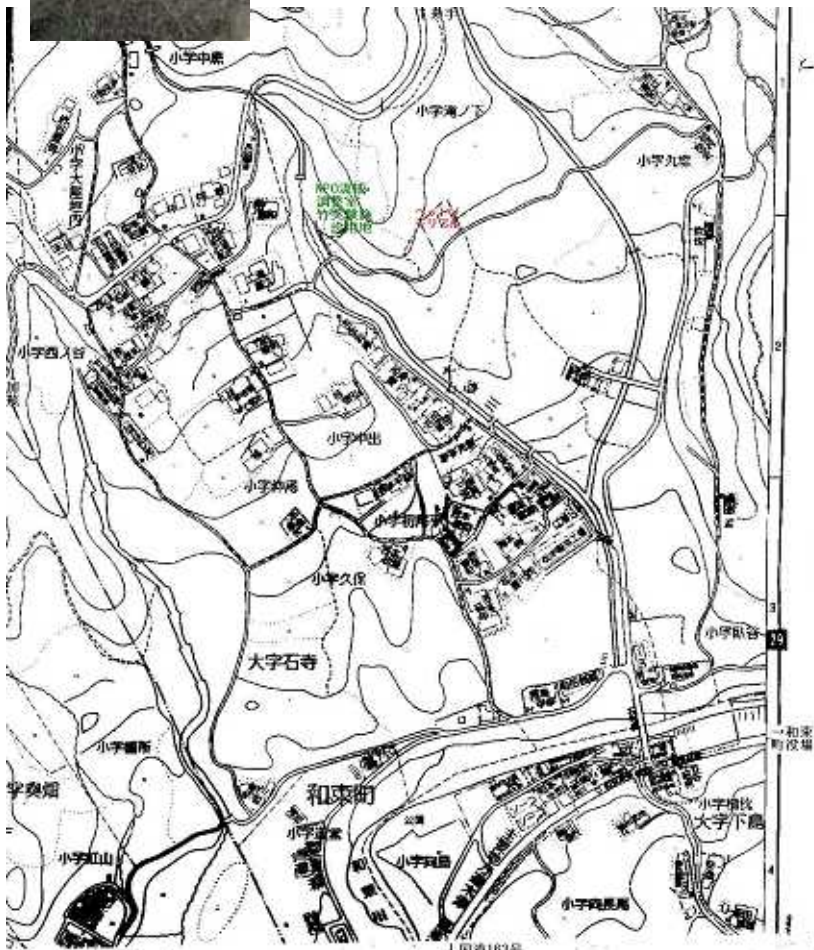


大谷川を渡る
町道橋の手前
ある看板



奈良大学生考案 ゆるキャラ「ホタマン」

材料となる竹を
伐採した用地北
側の山林



接合部

同向ハ入字ハ加茂川河口から <http://jkrku.narakotsu.co.jp/form/asp/ejhr0060.asp>

いずれも連絡不要、飛び入り参加可。JR 木津駅より送迎可、希望者のみ
MXE02232@nifty.com 安束までご連絡を。 <http://www.eonet.ne.jp/~river-basin>



(竹栈木は接合難しく庇のみに)



(山田川の暫定護岸に使われていた柵を盛土法面を補強)



(土壁の表面は漆喰で上塗り)



この竹小屋(物置)の中に足踏み水車も置いています。



「水ミチ」(浅層浸透水)の存在場所と水槽設置推奨場所

